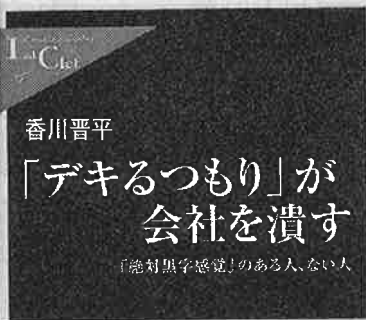


読書

8面

筆者は公認会計士・税理士として企業経営に関わる。ダメな企業の問題点として「ヒト」「モノ」「カネ」「時間」の四つのムダを挙げる。「デキるつもり」の自称・黒字社員は、「デキない」ことを自覚している赤字社員より企業内での四つのムダを広げると警告している。

若手有害社員一掃への提言



「デキるつもり」度チェック

- 名刺交換した枚数を自慢する
- トイレで新人の悪口をいう
- つねに「できない理由」を探す
- 「契約命」で、強引にセールス
- 長時間労働を誇るetc.

中公新書ラクレ 81 全巻 ¥990 (税込)

なり、指示されたことをキチンとこなして役立つ人。「人在」は、ただ存在しているだけ。いてもいなくて影響がない人。最後の「人罪」は存在自体がマイナス。ネガティブ発言などで、周囲に悪影響をもたらす人を指す。「人罪」の中でも特に問題、としているのは「自己の実力勘違い人間」と「相手



「『デキるつもり』が会社を潰す」
『絶対黒字感覚』のある人・ない人

香川 晋平著

手のやる気削ぎ人間」の周囲に害毒を流す2タイプ。例として「名刺交換数を自慢」「トイレで新人の悪口」「実力勘違い」は、失敗すると他人のせいにし周囲を攻撃、さらに追求されると逆ギレする。「やる気削ぎ」は常に自己防衛的マイナス思考で周囲を腐らせる名人、というわけ。

能力や熱意の低い「人在」社員は毒にも薬にもならないうが、自称・デキる黒字社員のつもりで「人罪」社員は、会社と「考え方」の方向性が決定的に異なるもの、潜在的に異なるもの、潜在的能力や熱意はむしろ高いので「悪知恵」が

(中公新書ラクレ・81)

(畑)



10月16日(日)
2011年(平成23年)



10月16日(日)
2011年(平成23年)